

株主のみなさまへ

第88期 株主通信

2015年4月1日～2016年3月31日

豊かで快適な生活のために

2016年3月期 通期の業績

売上高

8,603億円

前期比：+8.3%

営業利益

161億円

前期比：+13.6%

経常利益

185億円

前期比：+13.7%

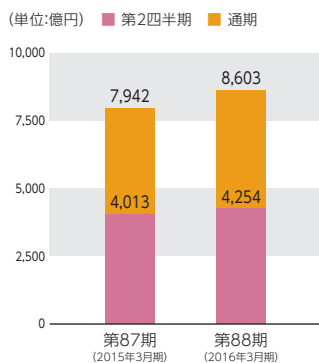
当期純利益

119億円

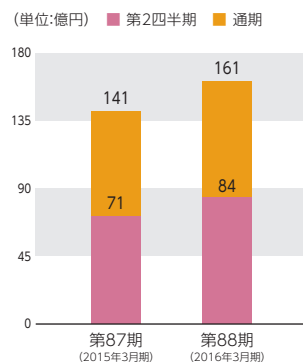
前期比：+16.2%

業績の推移

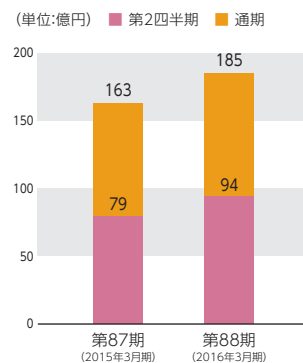
売上高



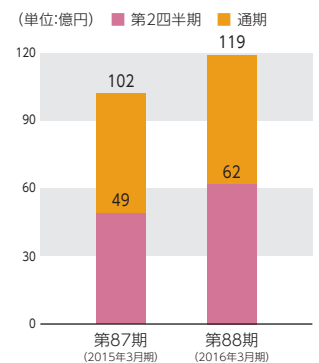
営業利益



経常利益



当期(四半期)純利益



当事業年度につきましては、中期経営計画を軸とした生産性向上への取組みの結果、売上高・利益ともに創業以来の過去最高を更新することができました。

2017年3月期の業績見通し

売上高

9,000億円

前期比：+4.6%

営業利益

175億円

前期比：+8.7%

経常利益

195億円

前期比：+5.1%

当期純利益

132億円

前期比：+10.6%

2017年3月期は、継続した生産性向上への取組みや小売業様・メーカー様との取組み強化により増収増益となる見通しです。

※2016年3月期から、会計方針の変更等を行っております。これに伴い、2015年3月期実績は、変更後の会計方針により遡及修正した数値を記載しております。

株主のみなさまへ

継続した生産性向上により、持続的成長と 中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年4月の熊本地震により、被災されました株主の
皆様には心からお見舞い申し上げます。
ここに、2016年3月期における当社の事業概況を
ご報告申し上げます。

代表取締役社長

木村 清隆



2016年3月期につきましては、緩やかながら、雇用・所得環境の持ち直し等に伴う消費マインドの改善や一部地域におけるインバウンド消費の拡大などにより、市場環境は改善傾向で推移いたしました。

このような状況のなか、当社は、最大市場である関東エリアにおいて「RDC関東」（埼玉県白岡市）を新設し2015年8月から出荷開始、また、東北エリアにおいては「RDC東北」（岩手県花巻市）増設と「FDC青森」（青森県青森市）及び「FDC八戸」（青森県八戸市）を新設し、こちらは同年10月から出荷を開始いたしました。さらに、伊東秀商事株式会社と2015年10月1日に合併し、さらなる業績拡大と生産性向上に取り組んでまいりました。

中期経営計画（3カ年）では、情報提供力を高めるための『情報システムの強化』、業務の高度化・効率化を担う『人材の育成』、社内はもとより小売業様・メーカー様との取組み強化によるサプライチェーン全体の『さらなる生産性向上』、そして安心・安全をベースとした営業・物流など中間流通業としての『機能強化』を加速することにより、持続的な企業価値向上を目指しております。

これらの結果、売上高は8,603億50百万円（前期比8.3%増）、営業利益は161億1百万円（前期比13.6%増）、経常利益は185億56百万円（前期比13.7%増）、当期純利益は119億29百万円（前期比16.2%増）となり、期初に予定しておりました大型の設備投資に伴う一過性のコストも吸収し、利益面では4期連続で過去最高を更新いたしました。

これもひとえに投資家の皆様をはじめステークホルダーの皆様のご温かいご支援の賜物と深謝申し上げます。

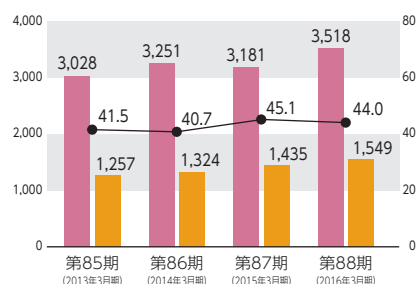
なお、今期の結果を踏まえ、中期経営計画の数値目標を新たに策定することいたしました。次期におきましては、全員参加型経営による業務フローの改善を推進するとともに、小売業様・メーカー様との連携をさらに強化し、『社会に真に必要なとされる中間流通業に向けた取組み』をビジョンとして掲げた中期経営計画の達成と、将来の環境変化に対応する強固な企業基盤構築に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

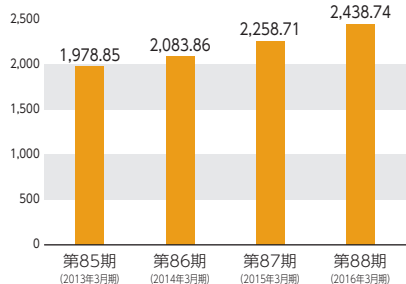
総資産／純資産／自己資本比率

(単位: 億円、%) ■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率



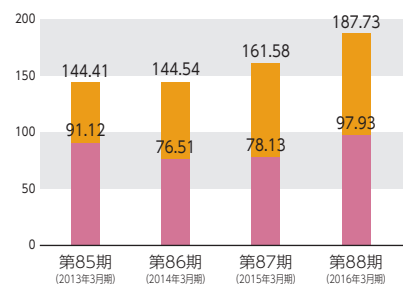
1株当たり純資産額

(単位: 円) ■ 通期



1株当たり当期(四半期) 純利益

(単位: 円) ■ 第2四半期 ■ 通期

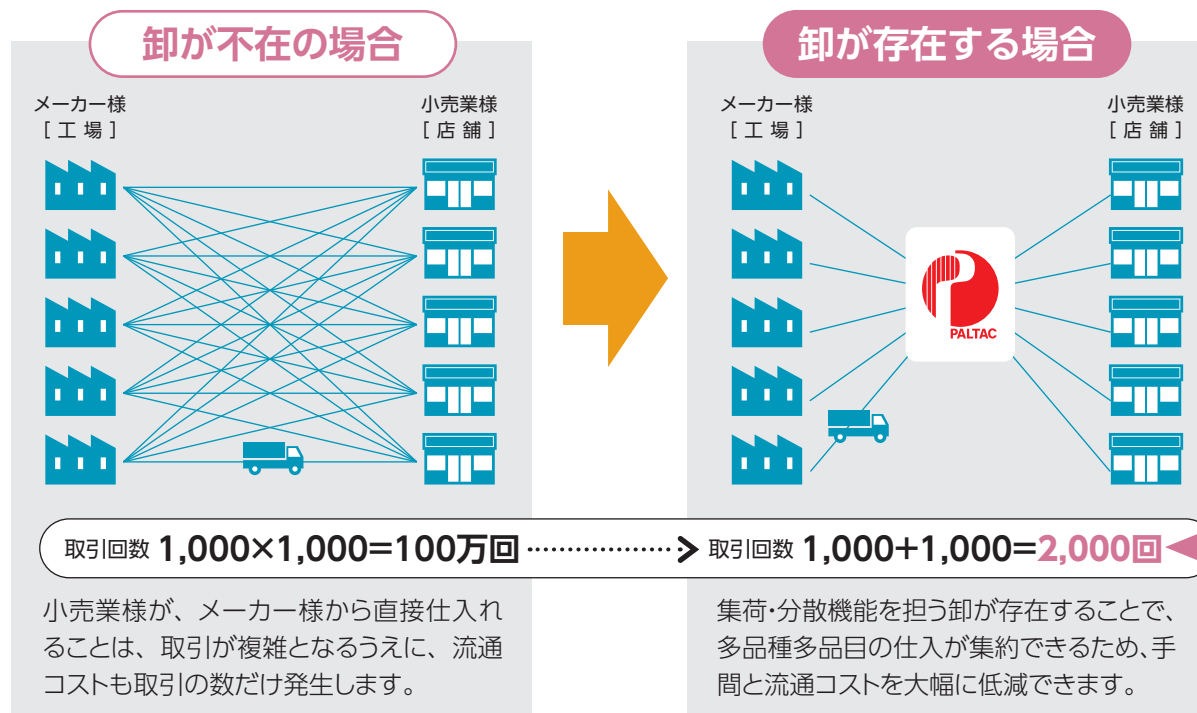


※2016年3月期から、会計方針の変更等を行っております。これに伴い、2015年3月期実績は、変更後の会計方針により遡及修正した数値を記載しております。

なお、2014年3月期以前の実績には反映していません。

なるほどPALTAC!

卸が存在するからこそ、流通の効率化が図れています。



PALTACは社会インフラを担う企業として、流通段階のムダを省き、消費者の皆様へローコストかつ安定的に商品をお届けできるよう努めております。

中期経営計画

最終年度(2018年3月期)目標を上方修正

2017年3月期において中期経営計画の当初目標を達成の見込み

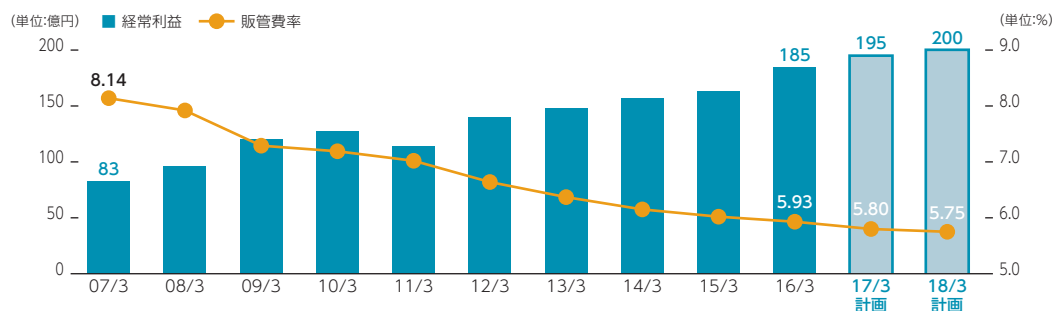
	2017年3月期 目標	2018年3月期 当初目標	達成率
売上高	9,000億円	8,800億円	102.3%
営業利益	175億円	165億円	106.1%
経常利益	195億円	185億円	105.4%
当期純利益	132億円	120億円	110.0%

Challenge

2018年3月期 修正目標	増減額
9,300億円	+500億円
180億円	+15億円
200億円	+15億円
135億円	+15億円

トピックス

継続した生産性向上の取組みにより利益成長を実現



販管費率
2.21% 低減

経常利益額
2.2倍

07/3と16/3の比較

※2016年3月期から、会計方針の変更等を行っております。これに伴い、2015年3月期実績は、変更後の会計方針により遡及修正した数値を記載しております。
なお、2014年3月期以前の実績は簡易的方法による遡及修正した数値を記載しております。

株主還元について

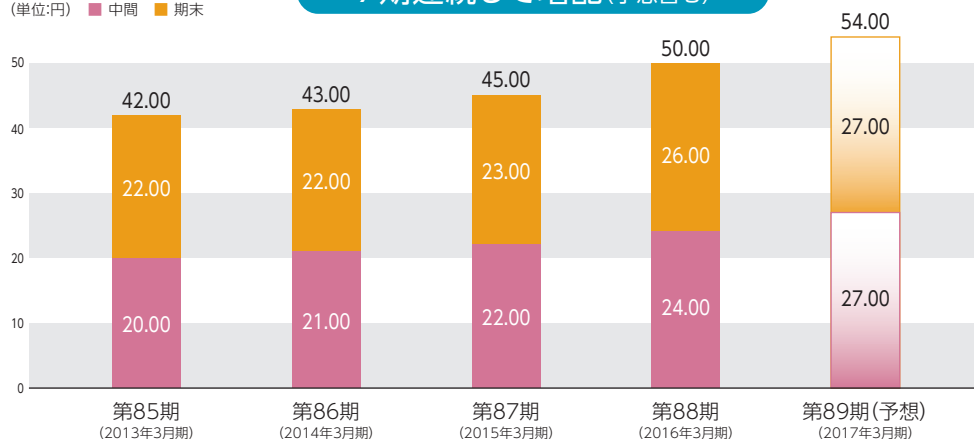
利益配分は資本政策の重要項目であるとの認識の下、財務基盤強化・事業展開に必要な内部留保の充実を確保しつつ、下記の基本方針に基づき実施。

- 安定した配当を継続
- 配当性向25%以上を目処
- 中長期的な業績拡大に応じて増配に努める

配当実績／配当予想

(単位:円) ■ 中間 ■ 期末

7期連続して増配(予想含む)



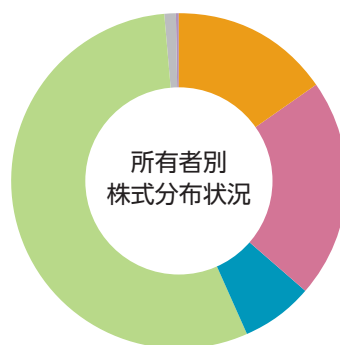
※連続増配は株式分割に伴う実質増配を含む

株式の状況

(2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 ※自己株式含む	63,553,485株
株主数	5,001名

※自己株式5,858株



金融機関	9,823千株 (15.46%)
外国株主	13,321千株 (20.96%)
個人株主	4,512千株 (7.10%)
その他法人	35,132千株 (55.28%)
証券会社	757千株 (1.19%)
自己株式	5千株 (0.01%)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領 株主確定日	3月31日、9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部(証券コード8283)
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします (公告掲載URL) http://www.paltac.co.jp/ 但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載する

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金に関する手続き、その他株主事務に関する一般的なご照会につきましては、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

単元未満株式について

単元未満株式(1株～99株)をお持ちの株主様は、当社に対しその単元未満株式の買取を請求することができます。買取請求のお手続きの方法等につきましては、お取引のある口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

ホームページをリニューアルいたしました。



詳しい会社情報や財務関連情報をご覧いただけます。

スマートフォンにも対応!

PALTAC IR

検索

<http://www.paltac.co.jp/>

見直しに関する注意事項

この株主通信に記載されている当社の計画、見直し、戦略などは、日本経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見直しと異なる可能性がありますことをご承知おきください。

社会インフラとして生活を支えつづけて110余年



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。